

論文番号 9

担当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題名 (原題/訳)

Lifestyle factors and plasma homocysteine concentrations in a general population sample
一般住民における生活習慣要因と血漿ホモシステイン濃度

執筆者

de Bree A, Verschuren WM, Blom HJ, Kromhout D

掲載誌 (番号又は発行年月日)

American Journal of Epidemiology, 154(2):150-4, 2001

キーワード

成人、飲酒、循環器疾患、コーヒー、ホモシステイン、生活習慣、喫煙

要旨

オランダの一般住民を対象として、血漿ホモシステイン濃度と関連する生活習慣について、20-65歳の成人 3,025人を対象として検討した。この断面調査は、1993-1996年に実施されたコホート研究の一部の対象者である。血漿ホモシステイン濃度と関連していたものは、喫煙は正に、飲酒は負に、コーヒーは正に関連していた。喫煙の効果は女性において最も強かった。一方、アルコールは男性において最も関連が強かった。これらの関連は、年齢、葉酸の摂取量、ビタミンB補助剤を調整しても、その関連が見られた。生活習慣の変化により、血漿ホモシステイン濃度は、 $0.1-1.7 \mu\text{mol/l}$ 変化することが推定された。生活習慣の変化は、血漿ホモシステイン濃度に関して、公衆衛生上の有益な変化を与えると期待できる。